

明倫

さわやか東風



高鍋東中学校  
学校だより  
令和2年10月10日

## 第74回東中学校体育大会 明日開催

今年度の体育大会を明日11日(日)に開催します。これまで体育大会実行委員長(西河 実優 さん)、赤・青・黄の団長を先頭に、毎日の全体練習、各団の応援練習などを行ってきました。

今年のスローガンは、「Nothing is Impossible ~1%の可能性 99%の信念~」です(松本 大駕 くん作)。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながらの体育大会、生徒の団結と保護者の皆様のご協力を得ながら、みんなの力で成功させましょう。

赤 団

団 長 加藤 悠斗くん  
副団長 喜友名香希さん

青 団

団 長 松本 大駕くん  
副団長 中川 七海さん

黄 団

団 長 水口 廉也くん  
副団長 松本 優 さん



第74回大会エンブレム  
(岩切 七樹 さん作)

## ラジオで東中校歌を紹介

10月9日(木)のJOY FM(エフエム宮崎)の番組「ら・ら・ラジオ」(10:00~)で、東中の校歌が紹介されました。中川 七海 さん(生徒会長)と水口 廉也 くん(副会長)のインタビューを交えながら、10分間にわたって校歌の特徴や伝統活動、東中応援歌などが紹介されました。番組の中では、ラジオを聴かれていた卒業生や地域の方々からの校歌への思い出なども紹介されていました。

ぜひ聴いてみたいと思われる方は、スマートフォンやパソコンなどで「radico」というアプリをダウンロード(無料)すると約1週間聴くことができます。(無料です) ぜひ、どうぞ。

## 第5回「なわのおび賞」を受賞

児童福祉の父とされる郷土の偉人、石井十次の精神や功績、生き方などを継承してもらおうと石井十次顕彰会が創設した「なわのおび賞」を町内6人の児童生徒が受賞しました。

藤原 悠太 くん(東小卒業 現東中1年)

陸上少年団に所属し、毎朝走る練習をするなど日々努力していました。運動会では自ら立候補して団長を務めました。

また、自分から進んで朝のボランティアやあいさつ運動にも取り組んでいました。

また、石井十次記念式典(今年度は中止)で、本校の 日高 愛子さん(2年)の意見発表が表彰されましたので紹介します。

山台 りずむ さん(東中卒業 現国立音大附高1年)

吹奏楽部部長を務めるかたわら、合唱団として九州大会に出場しました。

また、東児湯英語暗唱弁論大会に2年連続出場し、2年次に暗唱の部、3年次に弁論の部で最優秀賞を受賞しました。

「私のこれから」

高鍋東中学校 2年 日高 愛子

ひ：人を思いやる生徒 が：我慢強く学ぶ生徒 し：心身を鍛える生徒

これは、高鍋東中が目指す生徒像です。私は、これは石井十次の精神から成り立っていると考えました。

石井十次は高鍋町の偉人です。自分の夢をあきらめ、孤児の救済に一生をささげたとても立派な人です。私たちは今まで何度も「石井十次の生き方」について学んできましたが、心が広く、思いやりに満ちていると感じます。また、自らも教育を学び、孤児を立派に成長させるよう、努力をしていたそうです。

石井十次の名言に、次のような言葉があります。「天は父なり 人は同胞成れば互いに愛信じ相愛すべきこと」天の前には、皆同胞(家族)であり平等である。お互い信じ合い愛し合うべしという意味だそうです。人を思いやる心を大切にしていたからこそ、3000人もの児童救済に生涯を捧げることができたのだと思います。

私の夢は、小学校教師です。教育は石井十次に通じるものがあります。教育とは教えることです。石井十次が子どもたちに手に職を付けさせて自立へと導いたように、教え導くことのできる教育者になりたいです。そして、この夢をかなえるために我慢強く学びたいです。毎日の授業も先生の話をしっかり和聞きばかりでなく、自分の考えや大切だと思うことをノートに書くなど、主体的に学んでいきたいです。

また、私はバドミントンチームに入っています。コーチから教えてもらった「下を向かない」「前向きなことばをかける」といった、いくつかの約束があります。その中でも私は特に「大きなあいさつ」や「全力で取り組むこと」の2つを心がけています。今までも、これらの言葉に助けられて、毎日の練習や中体連の試合で実力が発揮できた場面がたくさんありました。このことを大切に、心身を鍛えていきたいです。

そして、これらを意識して、高鍋東中のめざす生徒に近づきたいです。「社会に出て社会に貢献する活力のある人物を輩出せしむる」という十次の精神を大切に、私も人の役に立てる人間になれるよう努力し続けたいです。